

## 趣意書

出船入船で賑わう佐渡の玄関口・両津港で開催した「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」は、毎回多くの来場者を迎え、島民によって名付けられた「おんでこドーム」とともに多くの方々より愛されるイベントに成長しました。

地元食材を使った特産品、獲れたての佐渡沖の魚、そして、地酒の数々など、佐渡の美味しい味をお客様に堪能して頂いています。

また、佐渡おけさや鬼太鼓を代表とする佐渡島の芸能を披露し、大きな反響を頂いています。

今、佐渡は、少子高齢化に加え、観光客の減少や、景気の低迷など多くの問題を抱え、危機的な状況に直面しています。

二〇二〇年から蔓延した新型コロナウイルスは、今なお、全世界に大きな脅威を与えています。

しかし、佐渡には、それぞれの地域で脈々と受け継がれ伝承されてきた芸能があります。四季豊かな佐渡の自然に生まれ、人々によって伝えられてきた美味しい味があります。そして、人情豊かな人々がいます。佐渡が元気を無くしかけている今こそ、自らを奮い立たせる時ではないでしょうか。

佐渡の若者が、それぞれの地域でそれぞれの活動をし、活躍することこそが、私たちが佐渡の地に住み親しんでいる「証」であり、「誇り」ではないでしょうか。

この素晴らしい財産を多いに活用して、佐渡の魅力を再認識し、これら一つ一つの力を結集して、佐渡島民一丸となって、みなぎる力を佐渡から全国に発信することが重要と考えます。

私たちは、佐渡が活気あふれる島となる為の起爆剤となり、佐渡発展の為に大いに努力する所存です。